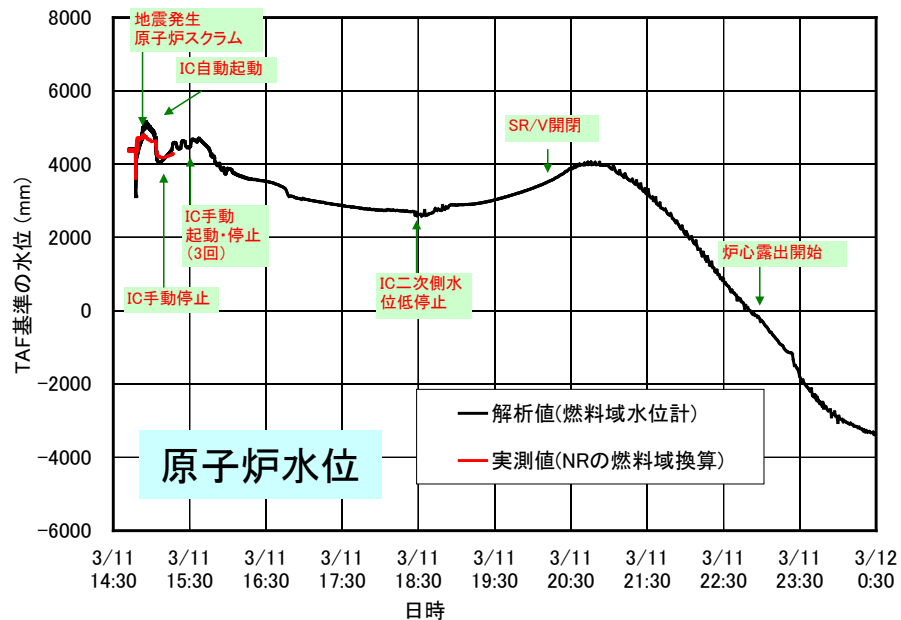
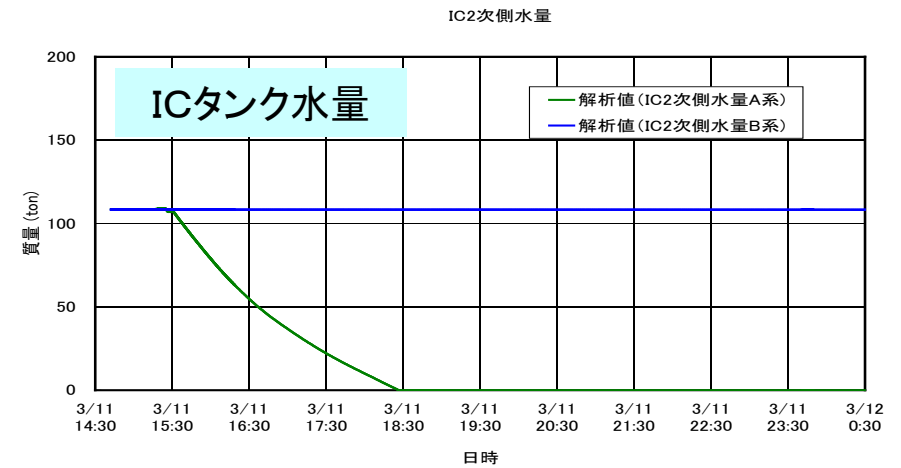
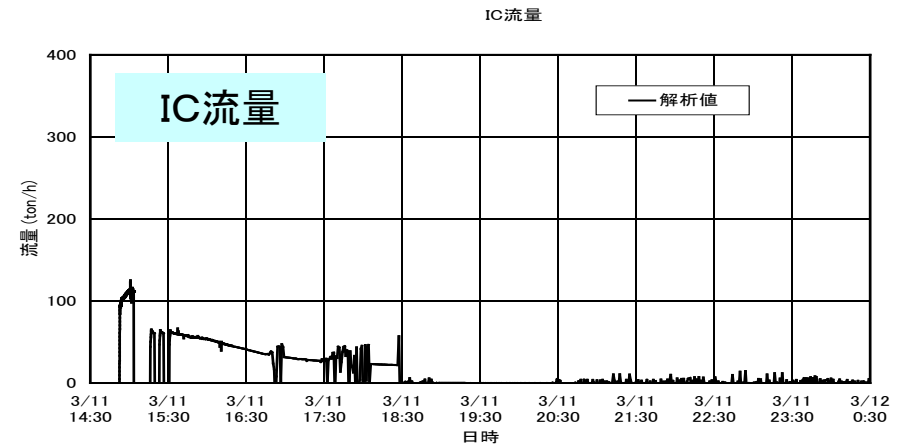
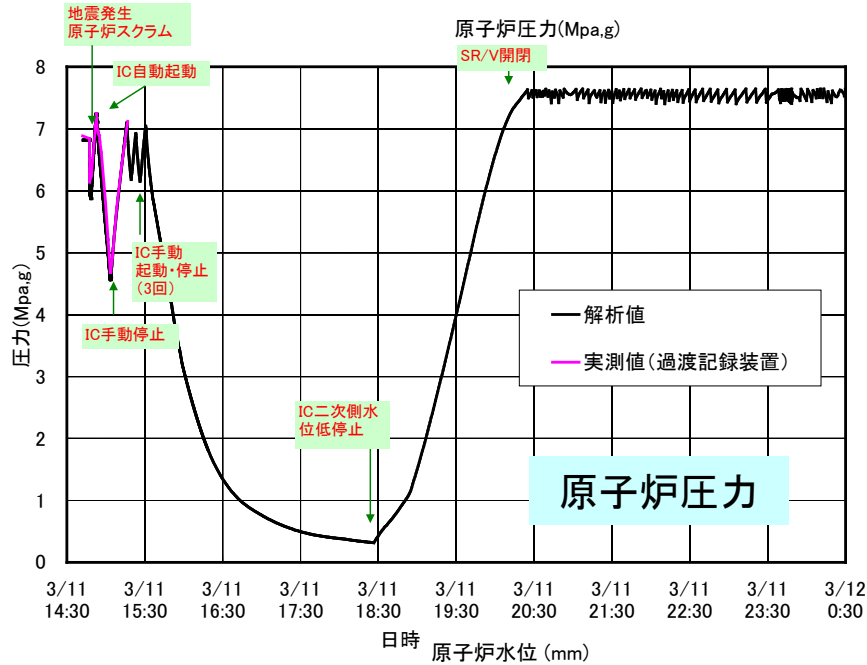


【1】ケース1A : IC継続運転、ICタンクへの補給水無し(初期10時間)



・ 事象開始後約5時間には逃し安全弁が開き、開閉が続く。これにより、原子炉水位が低下して行き、事象開始後約8時間(22:40頃)に炉心の露出が開始している。